

# 社会福法人阪神福祉事業団中期経営計画(第4訂) 概要 (期間:令和7年度～令和10年度)

<b>1 運営理念・基本方針</b>
<p><b>◆ 運営理念</b> 利用者一人ひとりを見すえた、きめの細かい支援と潤いのある生活環境づくりに努め、すべての人が障がいの有無や程度を問わず、生き生きと暮らすことのできる、心豊かな共生社会をめざす。</p> <p><b>◆ 経営の基本方針</b></p> <p>①利用者、家族、地域に信頼され期待される付加価値の高いサービスの提供 6市1町で福祉サービスを提供する事業団として、6市1町と協調し、障がい児者の方、生活困窮者の方、高齢者の方への専門的な福祉実践を通じて、安心して暮らし、活動できる居場所を創造</p> <p>②将来にわたって地域に貢献し続ける法人であるため自主自立経営を推進 安定した収益の確保と適切な予算執行により利用者支援の充実、生活環境の改善、職員の確保・育成を自ら効率的・効果的に管理、実行するとともに、自主自立経営を担う職員を育成</p> <p>③6つの視点(利用者の視点、地域の視点、人づくりの視点、財務の視点、透明化の視点、危機管理の視点)に基づく経営の推進</p> <p><b>◆ 利用者支援のコンセプト【よりそい、まづき、そうぞうする。】</b> 利用者に寄り添い、言語、非言語的コミュニケーションによる本人理解に努め、利用者の望み、強み、状態等に気づき、新たな支援や生活の創造に努める</p>

<b>2 事業団経営の基本的考え方</b>
<p><b>◆ 今後の事業団経営の基本的考え方</b></p> <p>①令和3年度～令和5年度決算の収支差額は平均約5億円以上。稼働率は法人目標の97%程度と、他法人と比較して高い稼働率を維持。経営の重要な指標であるサービス活動増減差額率は平均約12%と国・県の福祉法人の平均約2%を大きく上回る。今後も厳しい経営環境の中でも諸情勢の変化に対応し、安定的な財務基盤を確保する。</p> <p>②福祉サービスを支える人材の確保と定着を最重要課題と捉え、リクルート活動の活性化、風通しの良い、成長を実感できる職場環境を目指す。</p> <p>③センター診療所については、施設が分散化する中でも、診療体制を見直し、白寿荘・新生園・育成園・厚生院の内科、全施設の精神科・歯科、職員の健康管理の機能を継続的に担っていく。</p> <p>④厚生院移転改築に伴う西宮市山口町・田近野町、宝塚市東洋町の3拠点の運営体制の中で、拠点単位、法人単位の収支管理により、診療所も含めた法人全体の独立採算運営を継続する。</p> <p>⑤厚生院の移転改築の完了で大規模な整備事業が完了したことに伴い、今後の施設整備は各施設の自主財源を積み立てた設備修繕積立金を活用し対応する。</p> <p><b>◆ 6市1町分担金の考え方</b> 今後の事業団の運営経費、施設の改修、設備更新等の経費は事業団各施設の財源で対応。令和5年度から診療所分担金を廃止し、令和7年度からは法人本部施設整備積立金に係る分担金を廃止。令和7年度以降の分担金は学園、育成園、厚生院の整備に要した福祉医療機構借入金の元利償還金のみとする。(令和7年度分担金約7千万円、中期経営計画(3訂)の計画より約6千3百万円の削減予定)</p>

<b>3 中期経営計画重点施策</b>		
<b>概要</b>	<p><b>①利用者一人ひとりの「その人らしさ」を輝かせる生活の創造</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の権利擁護(権利擁護・虐待防止に関する実施計画)の推進、接遇の向上</li> <li>・福祉サービス第三者評価の全施設受審(令和5年度～令和10年度 3回目、4回目受審)</li> <li>・強度行動障がい、高齢者介護、認知症支援等のチーム支援の推進と地域への発信</li> <li>・地域移行、自立への支援と在宅福祉サービスの推進</li> </ul>	<p><b>④3拠点における事業団経営の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の収支を考慮した法人本部経費・積立の負担、診療所の運営費負担等トータル経営を推進</li> <li>・各拠点の利用者、職員の健康管理のセンターとして診療所の機能の充実と赤字の縮小</li> <li>・各拠点における委託、直営による利用者への食事提供と両方式のメリット、デメリットを検証し、安定的且つ効率的な運営体制を検討</li> </ul>
	<p><b>②地域との連携と協働の推進(地域における公益的な取り組み)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ、認知症サポーター養成講座等の取り組み(白寿荘)</li> <li>・子ども食堂(ななカフェ)の取り組み(育成園)</li> <li>・大学、社協等と連携した障がい者スポーツの啓発、体験活動等(障がい関係施設)</li> <li>・地域交流の促進、他団体との協働による福祉関係イベントの開催等(法人全体)</li> </ul>	<p><b>⑤自主自立経営に向けた財務基盤の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働率97%(入所、ショートステイを合わせた実請求ベース)を目標に経営会議で調整・管理</li> <li>・加算要件を確認、検討し利用者サービスの充実と加算取得を推進</li> <li>・より効果的な支出の検討と競争性の確保により効率的な執行に努める。</li> <li>・施設の経営会議による稼働率、加算の管理及び法人全体の経営状況の把握と経営管理を徹底</li> </ul>
	<p><b>③福祉を担う人づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用活動の強化、成長する職場、風通しの良い職場作りの取り組み</li> <li>・専門的チーム支援の推進による利用者支援、介護技術の向上</li> <li>・他法人、施設間の交流促進による人と人の連携、新たな発想、視野の拡大</li> <li>・リスク管理、職員の育成、労務管理、財務管理をトータルにマネジメントする役職者の育成</li> </ul>	<p><b>⑥利用者の暮らしの場の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R6～7年度 新生園大規模改修・受水施設等更新工事、学園空調機器更新</li> <li>・R7～8年度 給食センター等大規模改修工事、白寿荘給水配管工事</li> <li>・R8～9年度 旧厚生院、宿舎等解体撤去工事</li> <li>・R10年度以降 清光園大規模改修工事(R8～9年度西宮市田近野町拠点整備基本構想の策定)</li> </ul>
	<p><b>④3拠点における事業団経営の推進</b></p>	<p><b>⑤自主自立経営に向けた財務基盤の確立</b></p>